

水害時の衛生対策と消毒方法

台風や大雨などにより家屋等が汚水に浸水すると、細菌が増えるなど感染症や食中毒が発生しやすい環境になります。

そのような場合は、次の手順を参考に、衛生対策や消毒を行うようにしてください。

1. 衛生対策について

家屋などが浸水した場合、次のとおり清掃及び消毒し、衛生対策を行ってください。

清掃 まずは汚れを洗浄し、除去します

家の周囲や床下の汚泥を片付け、汚れた家財道具、床、壁などは水で洗い流すか、雑巾で水拭きして汚れを除去してください。

<注意>

- ・作業時は、マスク、長袖、長ズボン、長靴、手袋を着用し、水や土、汚染された廃材などを直接触らないよう気をつけてください。
- ・浸水して洗うことのできない家具（カーペット、布製ソファなど）は撤去してください。
- ・作業終了後は、しっかり手を洗ってください。

▶ 清掃の具体的な例

① 床上浸水の場合

室内は、泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒をしてください。

- ・水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ・汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ・食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ・食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

② 床下浸水の場合

土砂等を取り除いた後、水道水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。

- ・汚泥や不要なものなどを片付けてください。
- ・庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。
- ・床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。
- ・床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾などで水気をなくし、扇風機などにより強制的に換気し、乾燥させてください。

消毒 清掃・洗浄後に乾燥させてから消毒します

消毒は、洗浄後でないと効果を十分に発揮することができません。

※ 消毒については裏面を参照してください。

2. 食中毒及び感染症の予防対策について

- ・水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品は廃棄してください。
- ・からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
- ・食事の前や用便、清掃の後などは、石けんと流水でしっかりと手を洗ってください。

3. 消毒方法について

- ・消毒は、必ず洗浄し、乾燥させてから行ってください。
- ・長袖、長ズボン、マスク、ゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。消毒薬が肌などについたらすぐに大量の流水で十分に洗い流してください。

<消毒方法>

消毒対象	消毒薬	調整方法	使用方法
手指	・石けんと流水 ・手指消毒用アルコール		① 汚れを石けんで洗い、流水で流す。 ② 清潔なタオルなどで手指を乾燥させた後、アルコールで消毒する。
食器類 流し台 浴槽	0.02%次亜塩素酸ナトリウム	5%次亜塩素酸ナトリウム原液4mLに水を加えて1Lとする。 (市販の家庭用塩素系漂白剤の原液濃度は約5%)	① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 調整した消毒薬に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具など)	0.1%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	10%塩化ベンザルコニウム原液10mLに水を加えて1Lとする。	① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など、色あせが気になる場所は水で2度拭きをする。
	0.1%次亜塩素酸ナトリウム	5%次亜塩素酸ナトリウム原液20mLに水を加えて1Lとする。 (市販の家庭用塩素系漂白剤の原液濃度は約5%)	① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など、色あせが気になる場所は水で2度拭きをする。
屋外 (汚水が付着した外壁や地面、床下など)	消石灰	そのまま使用する。	① 水が引いてから、浸水した床下などに全体が白くなる程度(約300g/m ²)散布する。 ② じょうろ等で軽く上から水をまき、表面の消石灰を固める。 ・皮膚に付いたり、目やのどに入ると炎症をおこすことがあるため、注意する。 ・水に触れたときに発熱することがあるので、注意する。

注1 塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使い分けについては、以下を基準として考えます。

- ・汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用してください。
- ・対象物が、色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合は、塩化ベンザルコニウムを使用してください。

注2 消毒薬は使用するときに上の表を参考に希釈してください。作り置きした消毒薬は効果が十分発揮できません。

注3 消毒薬は色々な濃度のものが市販されているので、希釈倍率には注意してください。

お問い合わせ先	電話番号
郡山保健所	0743-51-0191
中和保健所	0744-48-3030
吉野保健所	0747-52-0551
内吉野保健所	0747-22-3051
消費・生活安全課(衛生関係)	0742-27-8674
保健予防課(感染症関係)	0742-27-8612